



やまざき ひろき  
**山崎 邦廣** 議員

## 問 高校魅力化支援事業の体制は

## 答 高校を核に共同事業体により推進

**推進の体制**

**議員** 事業の推進体制構築と高校との連携についてその考え方を伺う。

**町長** この事業は、地方創生政策のモデルの一つとして、地方の高校を全国から高校生が集まる魅力的な高校にする取り組みとして、今回、全国で12校が採択され、その1校に葛巻高校が選ばれたものである。

推進体制は、葛巻高校を核に教育の関係者、町産業振興協議会など地域の多様な関係者のほか、大学など教育機関を含めた共同事業体・コンソーシアムを組織し、高等学校教育の充実と地域産業の発展に協働して取り組むことを想定している。

事業目標を「地球規模の課題に果敢に挑む、地域・社会に貢献できる人材を目指す」とし、具体的に「地域と協働した魅力的な学校づくり」「地域に開かれた

教育プログラムの研究開発」「葛巻高校及び町の魅力の情報発信」「コンソーシアム持続化のための仕組みづくり」の四つに取り組んでいく。

地域留学生の教育プログラムでは「総合的な探求の時間」において、選択制体験セミナーなどの「共通プログラム」とホームステイやワイナリーなどでのインターンシップなどの「選択プログラム」の二つを留意している。

地域留学生には、「自ら学び、自ら考える力」「地域課題を解決する力」「地域のよさを発信する力」を



生徒らとのコミュニケーションをかかさない高校魅力化コーディネーター

※コンソーシアムとは…互いに力を合わせて目的に達しようとする組織や人の集団。共同事業体。

身につけてもらいたいと考えている。

**コーディネーターの役割**

**議員** 想定される役割は広範多岐にわたるが、詳細を伺う。

**町長** 主な役割は、「コンソーシアムの組織と運営」のほか、地域留学生の学び支援、地域外からの生徒募集戦略設計と実施などが挙げられる。

また、生徒受け入れの環境整備などや大学や民間企業などと連携した新規事業、他地域との連携と協働などにも取り組ん

でいただくこととなる。

**事業の成果検証**

**議員** 事業は5年間の継続事業だが、在籍高校や留学生との連携は、どのように考えているか伺う。

**町長** 本事業の狙いは、「将来の地域の担い手育成とともに、高校を核とした地域活性化」であり、地域留学生には、食料、環境、エネルギー分野のスペシャリストとして地域社会へ貢献、持続可能な社会の創り手となることを期待している。

また、留学生派遣先の高校との学校間交流、地域間交流に発展させることで、「地域留学生」を中心とした新たな関係人口、交流人口の創出など地域課題解決の一助となることも期待している。

少子高齢化が進むなか、児童生徒の教育環境充実に積極的に取り組む町として、しっかり進めていく。



えんどう ひろき  
**遠藤 裕樹** 議員

## 問 若者人口の減少対策は

## 答 若者雇用へ発信力を強化

**担い手不足への対応**

**議員** 若者人口の減少について町の将来に重大な懸念があるがどうか。

**町長** 主な要因として魅力ある就労環境や安定的な雇用環境が不足していること、Uターン者に対する支援策が不足していることが考えられる。

「安定的な雇用の確保」「地域の魅力発信」「マッチングの支援」「町外への転出抑制とUターンの推進」が図れる施策を展開しながらインターンシップ事業の「酪農版」をスタートさせ新たな農業の担い手確保に取り組んでいる。

商工業者における後継者の確保についても、継業支援事業など新たな制度を創設しながら、商工会や関係者と連携し後継者や担い手確保に取り組んでいる。

**交通環境の整備**

**議員** 道路における安全確保について、茶屋場田子線への街路灯の設置、国道281号線の歩道整備、遊歩道の整備についての考えは。

**町長** 町道茶屋場田子線の街路灯の設置は来年度の整備を検討しており、また281号線については必要な安全確保対策を県と協議し対応する。また、「まちなか」を



インターンシップで酪農の体験をする参加者

※マッチングとは…組み合わせること（ここでは町内の企業などと若者やU・Iターン者の仕事について）  
 ※インターンシップとは…学生が興味のある企業などで実際に働いたり、訪問したりする職業体験のこと。業務の内容や働くことへの理解を深めることが目的  
 ※ウイズコロナとは…新型コロナウイルスが（少なくとも短期的には）撲滅困難であることを前提とした新たな戦略や生活様式のこと

周遊できるルートづくりや周辺の整備と併せ、安全な散歩などができるような環境整備についても検討する。

**感染拡大の備え**

**議員** 新型コロナウイルス感染拡大への新たな対応と対策はどうか。

また、ウイズコロナの新しい生活様式への対応は。

**町長** 県内に感染者が確認され、全国でも感染が拡大している中「地域外

来検査センター」など新たな検査体制をとり、医療崩壊を起こさないよう、一層県と市町村の連携した医療提供体制が整えられている。一方、新しい生活様式の普及・定着が重要であり、町民への協力を引き続きお願いする。

仮に町内で感染者が確認された場合、感染者はもとより、家族や濃厚接触者の方のケアや検査・調査体制はしっかりと整えている。

ウイズコロナでの生活と対応は、冬に向かいインフルエンザ流行も考えられることから、これまで以上に感染者対策に留意していくとともに、高齢者や基礎疾患を持つている方々への感染予防を徹底する。一人一人が感染や予防を徹底し、慎重に行動することが求められることから、町民の理解と協力をお願いしたい。